

ルート帯とルート計画について

ルート帯とは

- ・国土交通省はルート帯(1km幅)を公表しています。
- ・ルート帯とは、今後、具体的にルートを計画する範囲のことです。

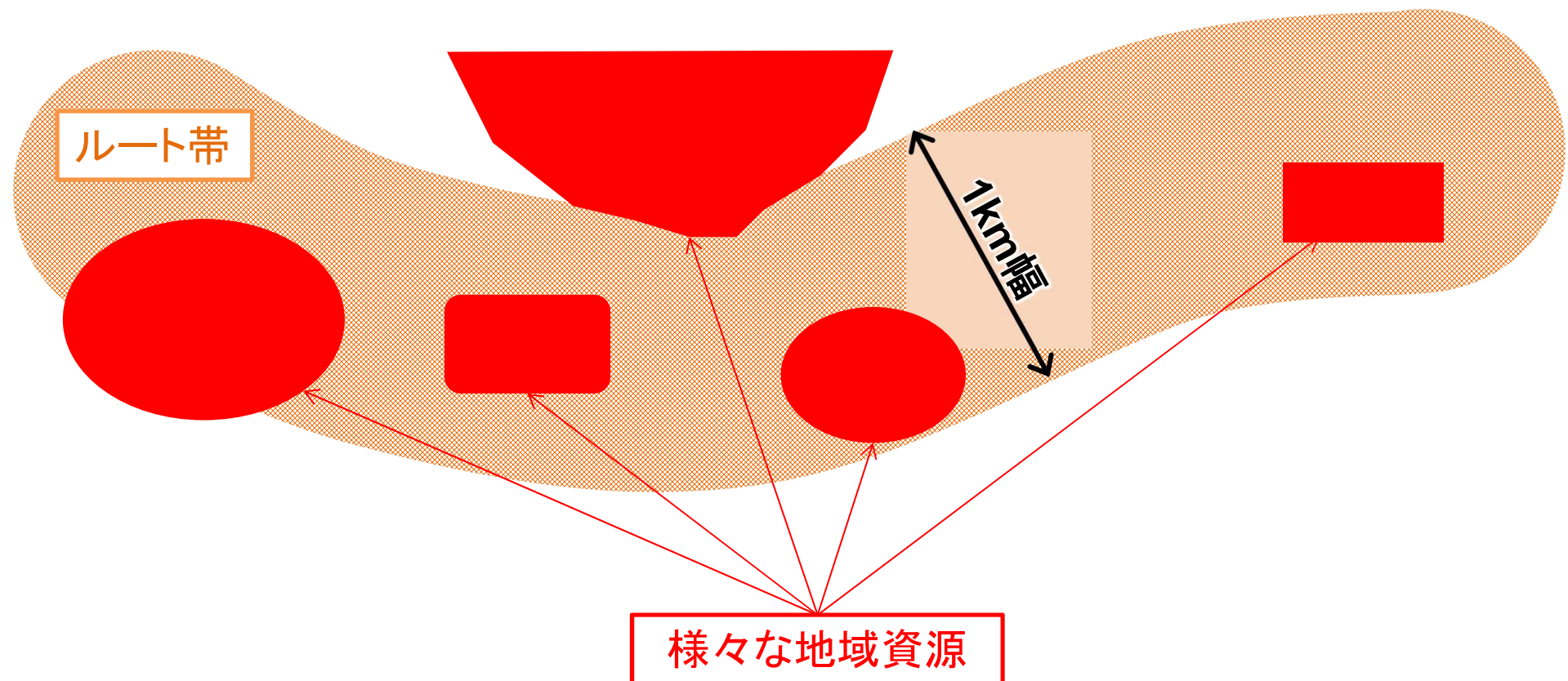
- 【ルート帯案の考え方】
- ・土地利用(住宅地・集落、別荘地、農地)への配慮
 - ・自然環境(貴重な動植物の生息地、湧水群)や景観に配慮
 - ・観光地(清里地域等)へのアクセス性に配慮
 - ・コスト縮減に配慮



ルート帯の中のルート計画

ルート帯の幅の中で、今後、具体的な道路の計画が行われ、ルートが決定します。

- ・1km幅の中のどこを通るかは、今後計画される。
- ・様々な地域資源を避けて道路を計画。



1. 地形との整合

- ・地形（山や川）への影響（切土・盛土）が少なくなるよう計画します。

2. 地域の様々な地物等の回避

- ・地域の様々な地物を出来るだけ回避します。
- ・例えば下記のようなものは、特に重要視されます。

◆主要な公共施設 市役所、学校、公民館、公園など



◆主要な観光施設 観光施設及び景観資源など



◆主要な神社、仏閣、文化財 歴史的資源など

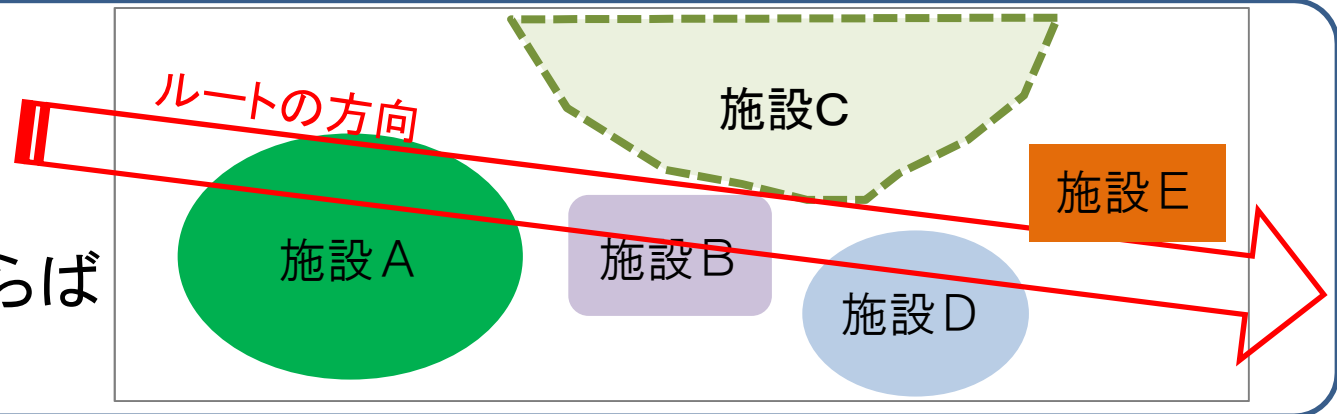
◆規模の大きい民間施設 発電所、大きな工場など



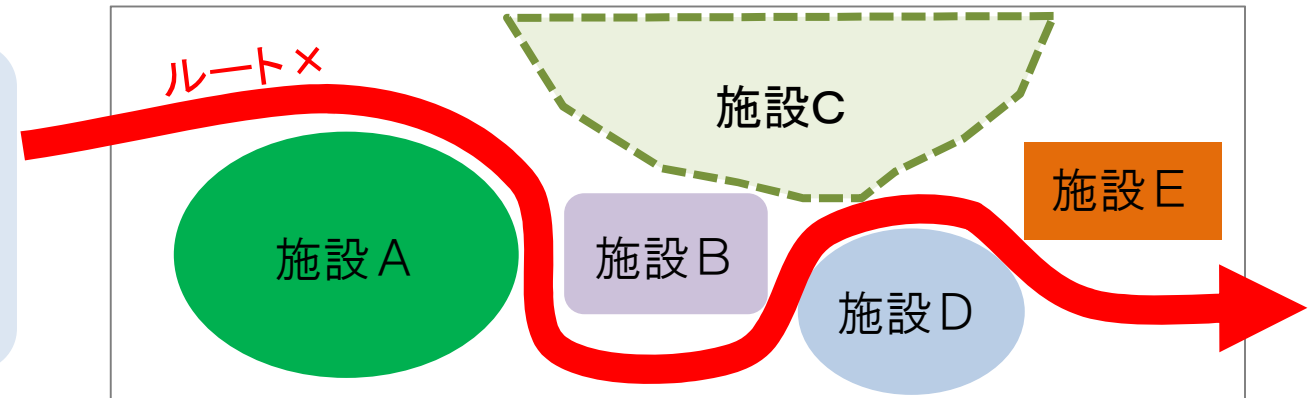
◆重要な自然環境資源 貴重な動植物の生息する森林など

地物を避けるルート計画のイメージ

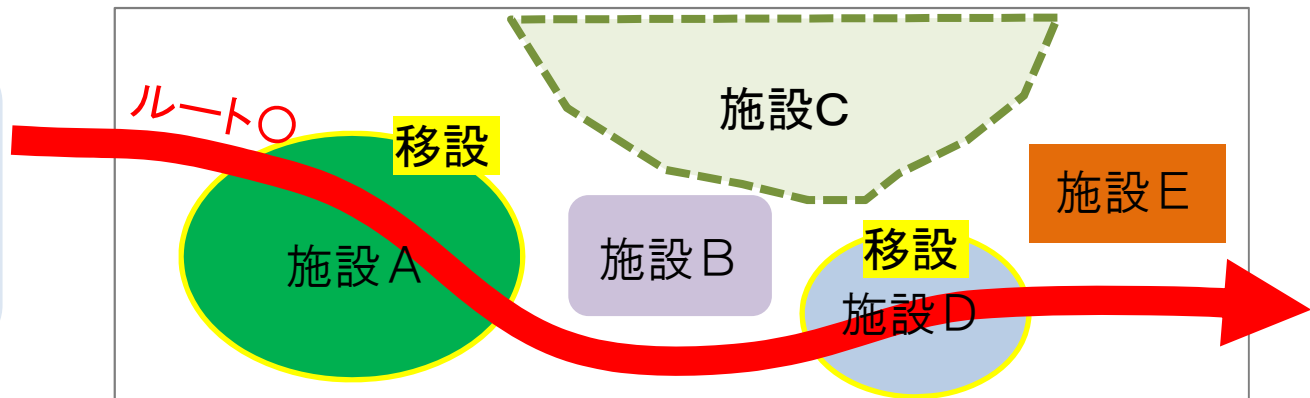
もしも、
こんな場所で
ルートを計画するならば



全ての地物を避けて
曲がりくねった
ルート計画？



施設の重要性
(移転の容易性等)
を判断してルートを
計画する




ルート計画の課題

◆ルート計画時の調査には限界がある。

文献調査、現地踏査で地物を確認して計画する。

◆対象物の重要度の判断が難しい。

一般常識で、様々な資源の重要度の判断を行うため、地域の価値観が反映されないことも・・・



市民が地域資源の重要度や意味を表明することで、今後のルート計画に、市民の意見が反映される

「何を避けてルート計画すべき」

「どんなことに配慮してルート計画すべき」